

# SIDR

## 滋賀県感染症情報

SHIGA Infectious Diseases Report

### 《週報》

第2巻第34号

第34週(8月19日～8月25日)

発行年月日:平成14年(2002年)8月30日

発行:滋賀県立衛生環境センター内  
滋賀県感染症情報センター

電話 077-537-3051 FAX 077-534-3936

### 1) 全数報告の感染症(1類～4類)

感染症類型	疾患名	報告数 (34週)	累積報告数 (1週～34週)	平成13年 報告数
1類感染症	報告なし	0	0	0
2類感染症	細菌性赤痢	0	4	4
	パラチフス	0	1	0
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	0	8	44
4類感染症	アメーバ赤痢	0	5	5
	エキノコックス症	0	1	0
	急性ウイルス性肝炎	0	2	2
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	1	2
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	1	0
	後天性免疫不全症候群	0	3	6
	ジアルジア症	0	0	1
	ツツガムシ病	0	0	2
	梅毒	0	3	6
	レジオネラ症	0	0	1

### 2) 定点把握の対象となる4類感染症

疾患名	定点当たり患者数		
	34週	増減	28週～33週
インフルエンザ	0.04		0
咽頭結膜熱	0.38		0.62
A群溶連菌咽頭炎	0.09		0.41
感染性胃腸炎	0.88		1.38
水痘	0.47		1.18
手足口病	0.78		1.68
伝染性紅斑	0.06		0.23
突発性発疹	0.78		0.59
百日咳	0		0
風疹	0		0.02
ヘルパンギーナ	1.69		2.35
麻疹	0.03		0.03
流行性耳下腺炎	0.97		1.02
急性出血性結膜炎	0		0.12
流行性角結膜炎	1.43		0.57
急性脳炎	0		0
細菌性髄膜炎	0		0
無菌性髄膜炎	0.57		1.24
マイコプラズマ肺炎	0.29		0.31
クラミジア肺炎	0.29		0
成人麻疹	0		0

\* 増減は、平成14年28週～33週の平均に対する今週との比較  
増加 減少 変化なし

\* 太字は、今週の注目される疾患です。  
全国集計などの詳細な集計結果は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページにおいて公表されています。  
(http://idsc.nih.go.jp/index-j.html)

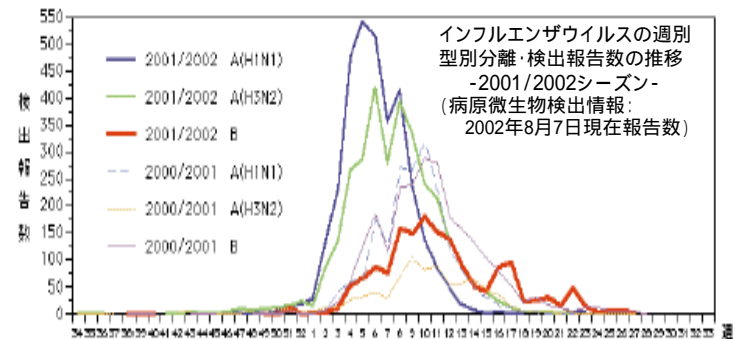
### 3) 今週のトピックス

#### 無菌性髄膜炎は減少傾向 咽頭結膜熱、ヘルパンギーナの発生に地域的な偏り インフルエンザの病原体情報

滋賀県における定点当たり患者数について、平成14年28週～33週の平均と平成14年の34週を比較すると、突発性発疹、流行性角結膜炎、クラミジア肺炎等に増加傾向がみられます。

無菌性髄膜炎の定点当たり患者数は、第29週以後、減少傾向となっていますが、全国の定点当たり患者数と比較するとかなり高くなっています。また、咽頭結膜熱の定点当たり患者数は、大津保健所管内で0.72、草津保健所管内で1.0と高くなっています。ヘルパンギーナについては、大津保健所管内で6.00、今津保健所管内で1.50となっています。

インフルエンザの病原体情報(2001/2002シーズンまとめ)は、下記のとおりです<iDWR2002年第4巻第31号より>。

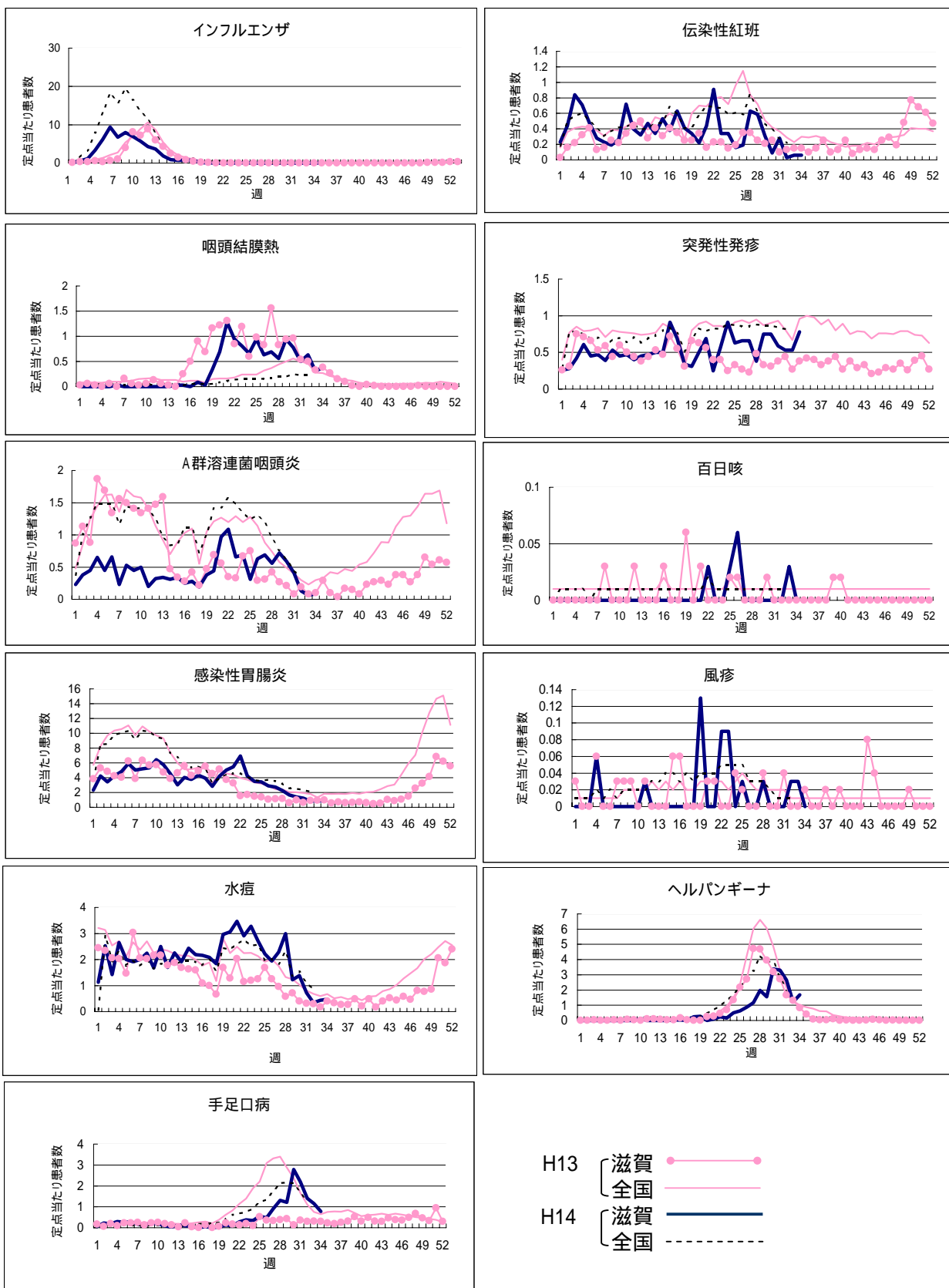


2001/2002シーズンのインフルエンザウイルス分離・検出数

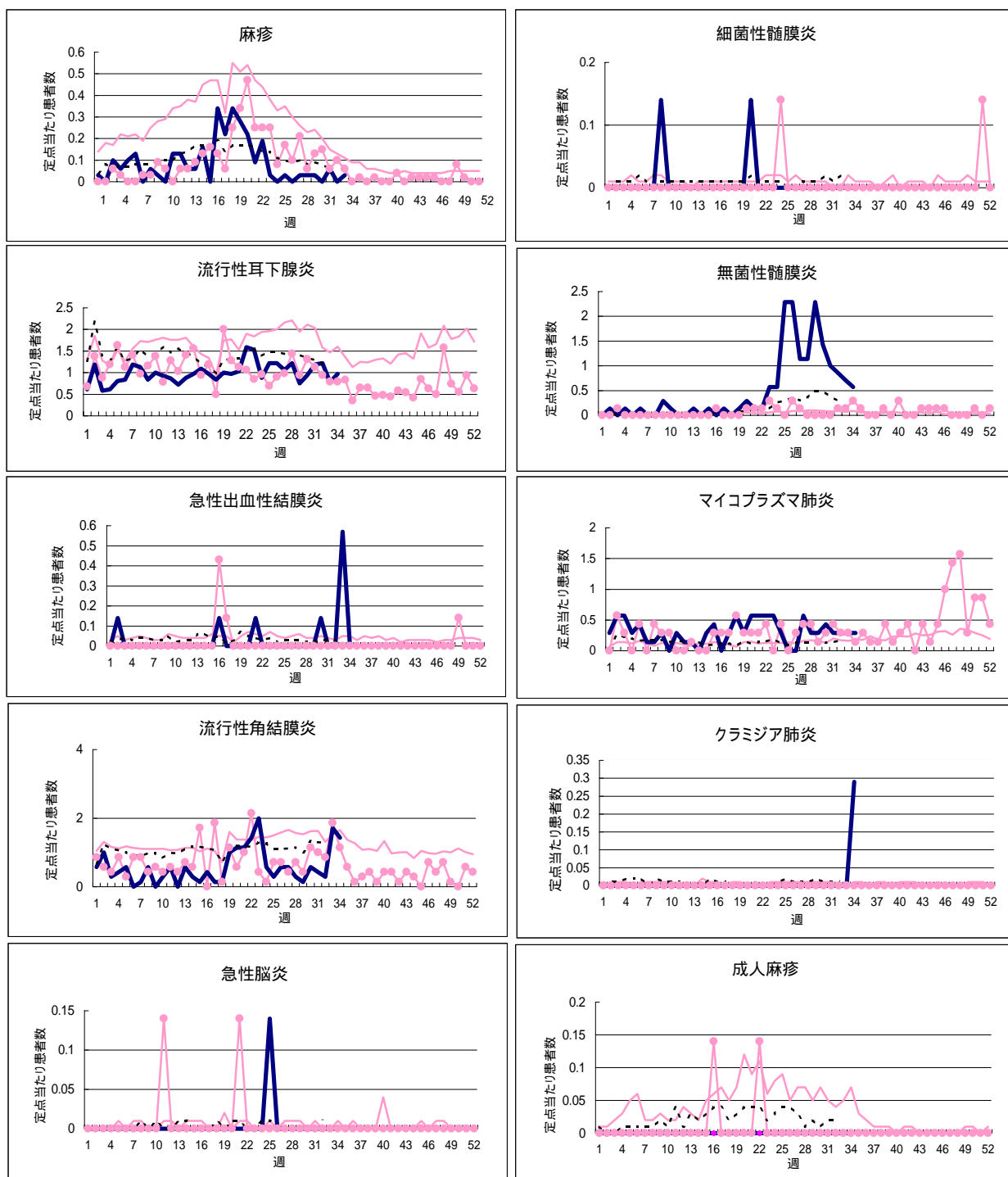
型	件数	最初の分離日	最後の分離日
A/ソ連(H1)型	3,262	2001年10月29日	2002年6月7日
A/香港(H3)型	3,097	2001年10月19日	2002年5月28日
B型	1,624	2001年12月13日	2002年7月5日

\* インフルエンザウイルスA型から、A/H1N2型が初めて2件報告された。

## 疾病別定点当たり患者数(平成14年第1週～第34週)



## 疾病別定点当たり患者数(平成14年第1週～第34週)



H13 { 滋賀 ●——●  
       { 全国 ————  
 H14 { 滋賀 ————  
       { 全国 - - - - -